

会員の横顔

●会員プロフィール Vol.20 ●ワインサロン ヴィヌム・ド・ハシエ 吉川恵理子



私の中のフランス

私が初めてフランスを訪れたのは、もう30年も前のことです。当時の私は父の経営する会社の事務を手伝いながら一人娘を育てていましたが、仕事にも生活にもこれといった不満はないものただただ流されていく毎日に漠然とした将来への不安感のようなものが渦巻いていました。

そんな自問自答の中、ある日思い切って両親にフランスへ行きたい。娘を二週間預めたい!と、大胆な申し出をしたのです。

その頃はワインやフランス料理もさることながら、兎にも角にも印象派や古典美術などに興味があった私は、この目でルーブル、オルセー、ポンピドゥー、オランジュリーへ行って、ダヴィンチとラファエロ、

モネ、ルノワール、ゴッホ、マティス、ピサロ、シスレー、セザンヌを観たい!という気持ちが強く、行けばなんとかなるくらいの軽い気持ちで早々に旅立ってしまったのです。

パリへ着き、念願のルーブルへは4日間連日通い詰め、殊更地下のエジプトコーナーとサモトラケのニケに心酔して、オランジュリー、オルセー、ポンピドゥー、マレ地区のドラクロワ美術館や小さな街の画廊まで、とことんアートに浸る日々を過ごしました。

その間、食費はなるべく安く済むTraiteur(惣菜屋)や、マルシェでパンとチーズ、ワインは近くの酒屋で買ってきて、二週間借りたバステューのキッチン付きのアパルトマンで暮らしました。

レストランへは行けなくとも、カフェには毎日のように通いました。そして知ってしまったのです!!カフェ文化の素晴らしさを。

美食への入り口。ワインの奥深さ。そこからは言わずもがな。その後、何度か訪れることになるフランスへの旅は、すっかり食の旅。三ツ星はじめ、有名レストラン、シャトー巡り、ブルゴーニュからボルドーへ、大好きになったシャブリ村まで、ひたすらワインを飲んでフランス料理を食べる事が中心となり、気づいたら飲食の道へ自らも入り、ソムリエの資格まで取ることになり、その後自らのワインとチー

Profile



ズの経験を活かした小さなサロンを持つことになったのです。

現在の私をここまで導いて育ててくれたのも、フランスの文化に触れたからこそ、あの無茶苦茶なフランス行きがあったからこそなんだと、改めて、大好きになったフランスに感謝、両親にも感謝しています。



C'est la vie!

L'Association franco-japonaise de Gunma

●法人会員プロフィール Vol.20

※順不同

株式会社勝山工務所

前橋に戦戦直後の昭和23年に開業し80周年となる、現在は建築設計事務所として多くの一級建築士や二級建築士、様々なコーディネーターを抱える、主に公立の小中学校やその他公共建築設計を得意とし、リフォームや戸建て住宅まで行う設計事務所です。

社長の小林幹昌氏は大のフランス好きで、これまでに60数回フランス各地を旅した経験を持つフランス通の中でも、大の筋金入りです。フランス旅行を通じて様々な建築や環境設計に役立っているそうです。

371-0037 群馬県前橋市小出町2-39-12
TEL: 027-231-3590
URL: <http://www.kaeo-katsuyama.jp>



株式会社ドンレミー

株式会社社から本舗 清月堂やホテルコグラン高崎などを傘下に持ち、東京足立区に本社を構える洋生菓子製造メーカーで、群馬県には極名工場があり、旅がらすの工場も前橋にあります。現在玉村町にドンレミー・旅がらす新工場を建設中ですが、こちらはアウトレット店としての機能の他、遊具農産物販売なども行い、子供から大人まで楽しめるテーマパーク的な施設になるようです。

ドンレミーという社名は、フランス北東部の小さな村「ドンレミ＝ラ＝ビュセル」に由来し、あのジャンヌ・ダルクの生誕地として有名な地です。この村の土壌は豊饒で、シャンパーニュとワインの世界的産地です。

〒120-0034 東京都足立区千住3-40-7
TEL: 03-5284-1941 (代)
URL: <https://www.domremy.com/>



ラフィエユ/フラワーやない

天川大島町のフラワーやない本店とけやきウォーク前橋内にあるラフィエユの2店舗を運営する、豊富な花の種類を取り扱い、ドライフラワーや花瓶、様々な雑貨や関連商品も多く扱うお花屋さんです。ラフィエユでは定期的に季節に合わせて様々な講習会も企画していて、多くの参加者が集い大変好評のようです。中でもクリスマス時期には手作りリースの講習会は大人気です。

また、群馬県花キュービッド加盟店で作る協会の役員も務める社長は、なんでも一生懸命。ネットでのアレンジ花などの販売や宅配も早くから始めたフットワークの良さが特徴のお花屋さんです。

〒379-2154 群馬県前橋市天川大島町1-20-10
TEL: 027-221-1726
URL: <https://flower-yanai.hanatown.net/>



パティスリー ラミティエ

ラミティエのパティシエ、矢島シェフは「ル・ノートル」というフランス三大パティスリー、あのピエール・エルメも修行した店で修行し、東京ル・ノートルの初代シェフパティシエまで務めた人です。

ガストン・ルノートル氏は、現代フランス菓子の基礎を作っただけでなく、フランス菓子をアートの領域まで高め、フランス菓子界の至宝とまで称される世界最高のパティシエの一人です。そんな背景のあるフランス菓子店ですので、極めて現地のフランス菓子に近い生菓子を中心に焼き菓子などを提供するお店です。不定期にオリジナルの季節限定、数量限定のケーキが提供されるのも人気です。

〒373-0861 群馬県太田市南矢島町53
レジデンス南矢島テナントC
TEL: 0276-55-3905
URL: <https://ameblo.jp/lamitie77/>



協会レポート

●Vol.20 ●評議員 板垣 忍

在日フランス商工会議所へ

昨年2023年7月27日に東京日本橋にある在日フランス商工会議所へ、群馬日仏協会のメンバーで訪問致しました。

在日フランス商工会議所(CCIFF)は、653社の日仏企業と1500人以上のビジネスコミュニティの中心です。また、産業セクターを超えて、大企業からスタートアップまで約150社以上の日仏企業により構成され、日本で最初の欧州商工会議所である在日フランス商工会議所は、1918年から、日本市場で御社の成功へ導くための様々なサービスを提供しているそうです。

現在、群馬日仏協会の副会長であり、前在日フランス商工会議所会頭であったベルナル・デルマス氏との協議の中から、これまでの群馬日仏協会も取り組みや実績を鑑み、今後在日フランス商工会議所と何らかの共同事業を行っていくということになり、今回は顔を合わせを兼ねた、打ち合わせでした。幸いにも、在日フランス商工会議所の窓口担当者一人に群馬県出身の女性がいて、今後の打ち



Report



合わせもスムーズに運んでいきそうでもと期待しています。

昨年、日本ミシュランタイヤ本社機能の太田市への完全移転や、ミシュラン主導による3D積層メタルプリントの研究施設、群馬積層造形プラットフォームの設立を機に、更に経済のみならず、文化や飲食及び観光など、多岐にわたる群馬とフランスとの実質的な交流を試みようとしています。

またコロナ禍直前に前橋市が加盟したミシュラン本社があるフランス中部の都市、クレルモン・フェラン市が中心となって世界20か国40都市によって設立された「ミシュラン都市の国際ネットワーク」も再開が期待されています。

更に、群馬経済同友会の協力もあり、群馬県も交えた共同事業の可能性やミシュランガイド群馬版または北関東版等の発刊要請も視野に入れ、今後すすめていきたいと考えていますのでご期待下さい。

会員レポート

●Vol.20 ●個人会員 加藤芳孝

上武大生のパリデビュー!

2024年2月5日～11日、現地4日間の日程でパリを訪れました。上武大学ビジネス情報学部学生9名を引き連れた海外研修です。学生は全員が初めての海外で、①ユネスコの施設見学、②パリ日本文化会館でフランス人対象の絵手紙ワークショップ主催、③Sodexo Franceでのインターンシップといった上武ならではの手作りメニューを用意しました。

円安・物価高なので、移動は交通系カード Navigo で地下鉄とバス。昼食は、エッフェル塔を臨むユネスコ職員専用食堂や三ツ星レストランを傘下を持つ Sodexo の社内カフェテリアで安く、美味しく、楽しく過ごしました。最終日夜は5区の Maison Cluny で、コンセルヴァトワールに留学中の大学院生を招いての晩餐会兼反省会でした。



限られた日数でしたが、学生には得難い経験になったと思います。異文化に直接触れることで気づきや思考、コミュニケーションなどの力が日毎に高まっていく様子が伺えて有意義な研修でした。(詳細レポートは上武大学HP 上武大学 (jobu.ac.jp) をご参照ください。)



もうすぐ、パリオリンピック

皆さんこんにちは。パリのキクちゃんです。もうすぐ、パリオリンピックです。2024年7月24日から8月11日まで、パリオリンピックが開催されます。パラリンピックは、8月28日から9月8日までです。

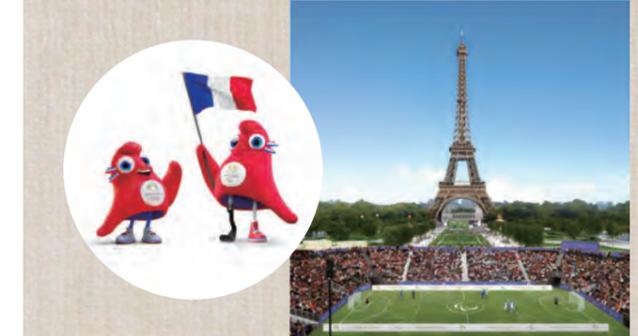
パリオリンピックは、なるべく既存の施設を手直しして開催するオリンピックです。例えば、1900年のパリ万博の会場としてつくられたグラン・パレは、フランスの国技、フェンシングの競技が開催されます。

一番注目されているのが、7月26日の開会式の入場行進です。選手たちは船でセーヌ川に入場します。オリンピックスタジアム以外での開会式は、史上初です。有料の観客席は、橋の上と川岸につくられ、道路からは、無料で入場行進を観ることができるとい、画期的な試みもあります。

開会式の花、パフォーマンスは、エッフェル塔の目の前、トロカデロ広場で開催されます。フランスは、「見せる」「魅せる」というのがとても上手ですから、この入場行進と開会式のパフォーマンスはとても楽しみです。多分、すこくかっこいいです♡

キクちゃんは、折角現地にいるのですから、競争率が高そうですが、無料の開会式観覧席の予約をしたいなと思っています。

ちなみに、パリ市からは、オリンピック期間中の引っ越しは慎むように。そしてなるべくテレワークを!というお達しがでております。ではまたね。



岩岡基久乃 (いわおかきくの)
2000年からフランス在住の日本人。南仏アンティープ市を経て、現在パリ17区在住。元大手電気メーカー勤務のキャリアウーマン。好きなものはシャンパーニュ、くまのぬいぐるみ。針灸師の夫とフランス全土を行動するさすらいの癒し系チャレンジャー。